

意の者なり」と言——と云く義光軍師一呼
を以てして思ひは満ちてあつた事なり
是より七年目には伏三十三人皆山伏の姿
となり山名一呼先達して又思満ちての
事あり一呼新始の太田義隆の臣下とあり
後より出羽守成軍師となり東海林又殊
院月心法師と云——とそ一達或一重とも
あり山本宗佐と云——俳人はき——と云
まゝ一重とあり羽源記の語を考れば皇孫
の坊者羽皇山（岳を移——と云）といふを
代の事にはや皇孫を本羽皇といふ説も有

一阿久谷

東照大権現の後より當りて言阿久谷を阿
久谷といふ秘所と稱して素信を許され
を委——く地利を志しむる程年交傳り山伏
は尋ねに湯の沸出る所ありといふ羽源記
云く是曰阿久谷り洞是也権現生身——と
云云——あふ本地ハ久遠を成道の大古和光日
輪より生伯禽^{ニナトリ}源始地神五代青い合する才
三の山娘^{は事得之}胎産界の示現なりと云く